

家庭科作品 「生活に役立つもの」

年組	番号	コメント
6年2組	1	僕の作品は、学校などで使う手提げを作りました。工夫したところは、2つあります。1つ目は、イニシャルを右下につけたところです。刺繍針で行ったので大変でした。2つ目は、手提げの大きさを普通よりも少し大きくしたことです。そうしたことで、色々なものが入ると思ったので大ききました。
6年2組	2	自分が家庭科の作品で頑張ったところは2つあります。1つ目は持ち手です。なぜなら作る時に持ってきた布を無くしてしまい、先生や友だちからもらった布で一から持ち手を作ったからです。2つ目に頑張ったところは最後の部分です。いらぬ糸の部分が残ってしまったのではみ出ている糸を全部切るところを頑張りました。
6年2組	3	自分が家庭科の作品で頑張ったところは2つあります。1つ目は持ち手を作ったことです。色んな人が手伝ってくれたり材料をくれたりしたので作ることができました。2つ目は持ち手の紐を工夫したところです。持ち手の紐を短く切りすぎたので他の色の紐とつなぎ合わせて使いました。
6年2組	4	このバッグを作るときに頑張ったことは2つあります。1つ目は、持ち手の長さです。入れるところに当たらないように、ですが長すぎないようにしました。入れるところの形を大きすぎず、けれどもいろいろなものが入るようにしました。
6年2組	5	私は気軽に持ち歩けるバッグが欲しかったので、最小限程度のもを入れるバッグを作りました。工夫したところは、紐をつける場所をはじにつけることで肩から楽に下げられるようにしたことです。また、縫う時にまち針を活用して、返し縫いを忘れずにチャコペン跡を縫えることができたので良かったです。
6年2組	6	紫色の星をつけるために下の布を縫わないように上の布と紐だけを縫うのが大変でした。星と星をつけている紐の部分に注目してほしいです。また、布が分厚いので、袋の取り出し口を縫うのに少し時間がかかってしまいましたが、その分、自分が満足できる作品に仕上がりました。
6年2組	7	私の作品は水筒カバーです。水筒カバーの作り方を知らずに作ろうとしたので時間がかかりました。また、作り方を知らないの先生に聞くなどしてより時間がかかりました。ファスナーをつけて取っ手もつけて、少し形が変だけど完成した時にとっても嬉しくて、実際に使ってみたいと思いました。
6年2組	8	私は、巾着袋を作りました。友達にいろいろなところを手伝ってもらいました。今回作った巾着袋は自分が予定していたものと少し違うものになってしまいました。ですが、この巾着袋を今回作り、作り方を大体覚えたので、次に作る時には今回の反省を生かしてスムーズに作っていきたいです。
6年2組	9	家庭科のバッグで工夫したところは、2つあります。1つ目は、バッグの手持ちの部分の部分を長くしたので、肩にもかけられるようにしたところです。2つ目は、バッグの底を深くしていろいろなものが何でも入るようにしたところも工夫したところなので是非注目してほしいです。
6年2組	10	肩からかけられる大きなポシェットを作りました。生地は少し厚みのあるものを選びました。その方が丈夫になると思ったからです。紐も生地の色と合う落ち着いた茶色にしました。これも長く長いものを選びました。袋に紐をつけるときは、結構大変だったけれど、友達や先生に聞いて何とかつけることができました。また、日常生活で使うので外ポケットをつけました。犬のデザインを全面に推した可愛いポシェットを作ることができました。
6年2組	11	私がこのバッグを作るときに頑張ったことは、ミシンで縫うときに曲がらないようにゆっくりといてねいに縫ったことです。壊れにくい丈夫なバッグにするために返し縫いをしっかりとしたり、手持ちの部分をばってんに縫ったりして、私だけのマイバッグを作りました。
6年2組	12	自分がバッグの持ち手がなくて困っていたら、友達がバッグの持ち手をくれて嬉しかったです。もし、日常でも人が困っていたら助けてあげる事を大切にしたいです。
6年2組	13	ぼくは、公園に持っていきようなバッグを作りました。頑張ったところは、ミシンでぬったことと、昔、着ていた洋服のポケットをつけたことです。とくに、苦戦したことは、返し縫いと、ポ

		ケツをつけたことです。けっこう大きいのでいろんなものが入るので便利です。
6年2組	14	僕は缶バッチを入れる袋を作りました。缶バッチをどこにでも持っていけるようにしました。そして缶バッチの他にも小物がたくさん入り、持ち運びがとても簡単なので、使いやすいです。またカバンにも入るので、持ち運びやすいです。
6年2組	15	私は、手提げをよく使うので手提げを作りました。頑張った所は、2つあります。1つ目は、紐をミシンで縫うときにあまりはみ出ないようにしたり、目立たないようにしたことです。2つ目は丈夫になるように返し縫いをしました。開けとかなければならないところを一回だけ、間違えて縫ってしまったのが大変でした。
6年2組	16	僕は、肩からかけられるバッグを作りました。工夫したところは、友達と遊ぶときに、カードゲームや、スイッチなどを持っていくのに持ち運びやすいよう、肩からかけられるようにしました。バッグの生地も面白そうな柄のコアラのマーチにしてみました。僕は器用ではないので、友だちに教えてもらいながら作りました。だから、この作品を作れたのはその友達のおかげだと思っています。
6年2組	17	この作品の工夫したところは、表と裏で模様を変えたところです。手提げを作っていて大変だったことは、手で持つ部分も自分で最初から作ったので中休みや昼休みも使って手提げを作ったことです。布を買うときも表の布に柄が合うように考えて買いました。このバッグは、体育着や上履きを入れるのに使いたいです。
6年2組	18	この作品で特に頑張ったところは、サイズです。A4のスケッチブックが少し余裕を持って入るくらいのサイズにしました。私は裁縫が苦手なので、友達にも手伝ってもらいながらやりました。この作品を作って難しいと思ったところは、持ち手を縫う所です。持ち手を縫うときに、裏側もくっつけて縫ってしまって大変なことになりました。でも、それを含めて楽しい作品作りができて良かったです。
6年2組	19	ポケットを作ってバッグを小さくたんで収納できるようにし、ボタンを作って大きなものを入れたりするとき落ちたり動いたりしないようにしたり、持ち手の部分をたくさん縫って重いものや大きいものを入れたときに破けたり壊れたりしてしまわないようにしました。
6年2組	20	今回は、ショルダーバッグを作りました。苦戦したところは蓋をつくることです。普通にポーチを作り、そこから蓋をつけました。一回縫っているので分厚いところからミシンで縫うことが大変でした。また、ひもを付けるときは、長さを調整できるようにしました。
6年2組	21	自分が家庭科の作品で工夫したところは2つあります。1つ目は返し縫いをたくさんして強度を上げたことです。これをしたことによって長い間使えるようになりました。2つ目は布の模様が家の形なので、模様がきれいに見えるように向きを考えて縫ったことです。模様もきれいなので是非見てください。
6年2組	22	私は肩掛けバッグを作りました。肩掛けバッグを作るときにミシンで縫うときやハサミで真っ直ぐ切ることが難しかったけれど、友達と教え合いながら作業を進めたら、一人でしているよりどんどん進んで、とても楽しかったです。ミシンで縫うときは真っ直ぐ平行になるようにして、シンプルだけど可愛くなるように作りました。
6年2組	23	この作品は初めから計画をしっかり立ててこれを作ろうと思って作ったものではありませんでした。作る物が思いつかなくて親に相談したところ、作ってと頼まれたものです。この作品はお弁当箱入れなのですが、横にポケットをつけたり底を広くしたりするのにかなり苦戦しました。特に底を広くするのは僕の技術では作るのがかなり難しかったです。
6年2組	24	マイバッグで気をつけたところは大きく色々なものが入られるということなんです。これで大きな荷物に入れられるから使い道が増えました。これで自分が使ったり弟が使ったりすることができていいと思いました。他にはいつでも使えるということなんです。どこか行くときにも使えるのでよかったです。
6年2組	25	ぼくは青色の手提げ袋を作りました。大きさはファイルが入るくらいで、特に持つところと本体を付ける部分の返し縫いを意識して取り組みました。無事に完成することができてよかったです。
6年2組	26	僕は小さな手提げを小物を入れるために作りました。作るのに角の部分や縫い方を工夫して作りました。持ち手がなかったので1から作って意外と簡単で楽しさもありました。今回作った手提げはうまくいったからまた布などで違う作品も作ってみたいと思いました。
6年2組	27	このバッグは、小さく、近くに出かけるときに使える大きさのバッグにしました。作っているときに布の縫う場所を間違えたりしましたが、中休みも昼休みも使い、完成させました。バッグの布の色を考えました。ノラネコぐんだんを使いたかったのですが、そこに合う色の布を選び作りま

		した。
6年2組	28	私は中学生になっても使えるバッグを作りました。特に難しかったところは持ち手をつけるところと、底を作るところです。持ち手は向きを考えないといけなくて、底は、両端を同じ長さにするところが難しかったです。ですが、友達がアドバイスをしてくれたり手伝ってくれたので、とても嬉しかったです。
6年2組	29	僕は、家庭科の時間はいつもお母さんのために作っていたので、今回はお父さんに会社でも家でも使える筆箱を作りました。工夫した点は、アイロンで貼るアルファベットを使って名前を貼ったり、裏に手縫いでメッセージを書いたりしたところです。
6年2組	30	家庭科は自分だけのバッグを作りました。友達に、持ち手を作る所を手伝ってもらいました。分からない所があったら、その友達に詳しくわかりやすく教えてもらったので凄く嬉しかったです。その友達がサポートしてくれたおかげで少し失敗してしまったけど、すごく楽しくできました。
6年2組	31	本をよく持ち歩くので、いつも持ち歩く本の大きさのバッグを作りました。そのようなバッグはあるのですが、肩にかけられるバッグがほしいと思って本の大きさにしました。蓋を締めて中身が出ないようにボタンで閉められるようにしました。厚さも一冊ともうちょっと入るように計算して布を裁断しました。
6年2組	32	家庭科ではバッグを作りました。バッグはバッグでもナップザックや手提げetc. 色々なバッグの種類がありました。そしてぼくは簡単そうだった手提げを選び、テーマは僕がハワイなどの南国が好きなので「ハワイ風の手提げ」にしました。だからハワイっぽい模様になりました。ハワイっぽい模様と言っても、ハワイは自然がいっぱいあって、そして自然の中で海が特に好きなので海っぽい模様になりました。
6年2組	33	この作品は、丈夫なものを作りたいと思って作った作品です。小物を入れるポケットや、丈夫な布など、作り方にこだわりました。遊びに行くときに便利になりそうな、両手があくという利点があるため、ナップザックにしました。ポケットは、ハンカチ、ティッシュ、ウエットティッシュなどをしまえるようにしました。ポケットのボタンも、色合いを考えたので、是非見てください。
6年2組	34	僕の家庭科で作ったバッグの名前は虹色のバッグです。僕が苦労したところはバッグの持ち手を作ることです。ミシンでバッグの持ち手を作る時に友達や先生に少し手伝ってもらってバッグの持ち手ができました。お気に入りのバッグができて、とても嬉しかったです。
6年2組	35	私の作品は、オシャレ風をイメージして作りました。お花が好きなのでお花の模様になりました。布を縫うところで真っ直ぐに縫えなくて斜めになってしまったりして難しかったけれど上手にできたので良かったです。物を沢山入れたかったので、物のサイズを測って入りやすくしました。初めてバッグを作ったけれど上手にできたので良かったです。
6年2組	36	私は習字をやっていて、新しい手提げにしたいと前から思っていました。家庭科でソーイングをすると聞いて、せっかくなので自分で作った手提げにしようと思ったので作りました。ですが、難しくてそんなに簡単には出来ませんでした。周りにいた友達が丁寧に分かりやすく教えてくれて、最終的には上手く出来たので嬉しかったです。友達に対して感謝でいっぱいになりました。
6年2組	37	家庭科で頑張ったことは、形を作るところです。たくさんミスをしてしまったけれど、友達や先生から作り方を教えてもらいながら作りました。とても大変だったけれど、友達が一緒に手伝ってくれてとても嬉しかったし、思い通りに作れて良かったです。